

I

計画策定に向けて

- 1 計画策定の目的
- 2 計画の基本的事項

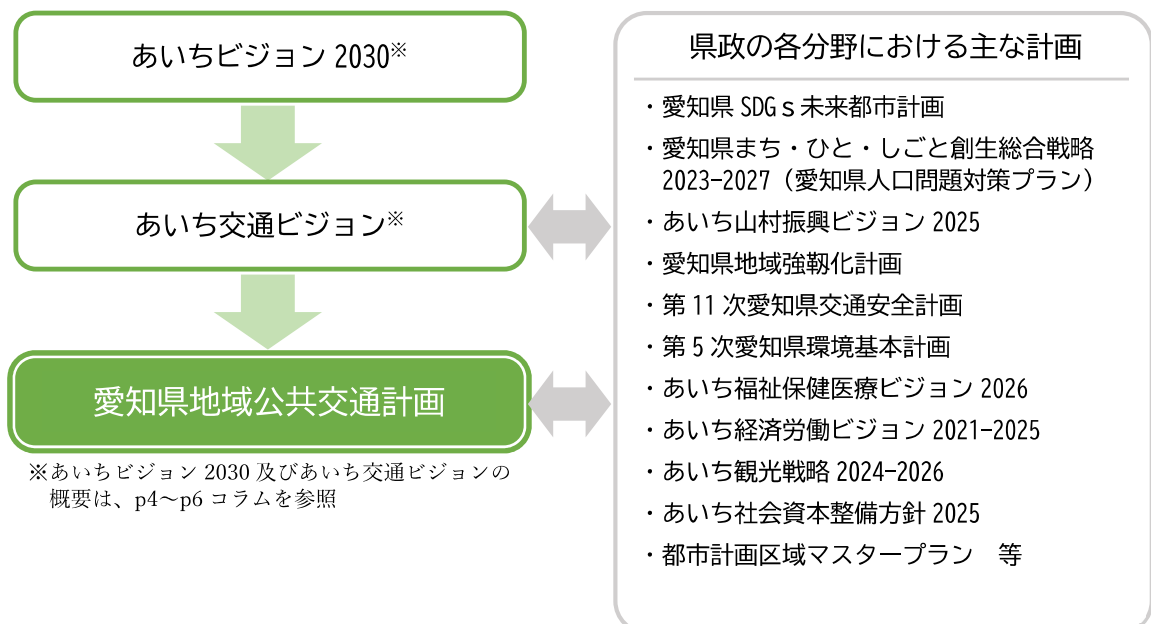
1 計画策定の目的

(1) 計画の目的

- 本県では 2040 年頃の社会経済を展望しつつ、交通を取り巻く状況の変化に柔軟かつ適切に対応していくため、2026 年度までの 5 年間に取り組む施策の方向性を示す「あいち交通ビジョン」を策定しました。
- 「あいち交通ビジョン」では、【持続可能な交通ネットワーク】、【利便性の高い交通サービス】、【愛知の強みを活かした交通とまちづくり】の視点を踏まえ、今後取り組むべき 5 つの方向性と、具体的な取組が示されています。
- 本計画の策定に当たっては、「あいち交通ビジョン」に位置付けられた取組と整合をとり、将来的に求められる公共交通ネットワークの考え方や、国、県、市町村の役割分担等を明確化することが必要です。
- 本計画は、「あいち交通ビジョン」の理念を受け継ぎながら、また 2023 年 11 月に改正法が全面施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）」に基づき、将来にわたり健康的な暮らし、活発な経済活動や観光振興などを支え続ける、持続可能な公共交通の確保・充実を図ることを目標に、実現に向けた方針や取組を示すものです。

(2) 計画の位置付け

- 本計画は、県の総合的な計画である「あいちビジョン 2030」を受けて策定した交通に関するビジョン「あいち交通ビジョン」の個別計画として、交通分野で取り組むべき施策の方向性を示し、国・県・市町村・交通事業者・県民等の役割分担と連携のもと、県として取り組む施策を位置付けるものです。
- 交通分野は様々な分野と密接に関係していることから、県政の各分野における計画とも連携を図り、取組を進めます。



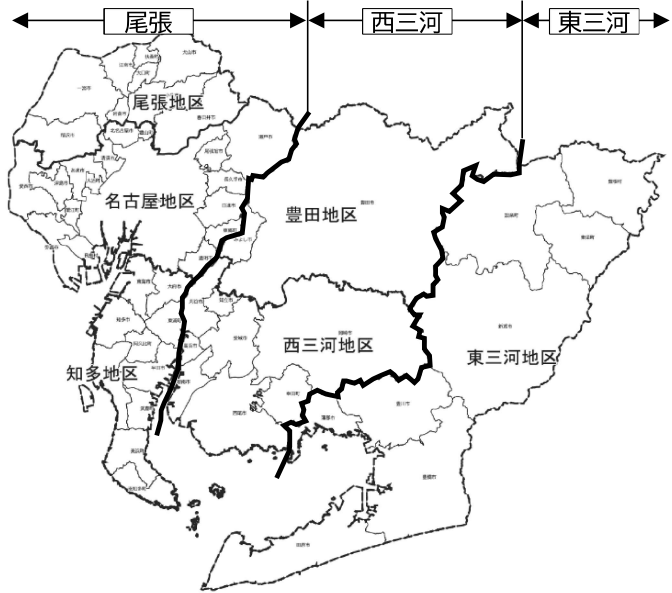
2 計画の基本的事項

(1) 計画期間と対象区域

- 本計画は、2024年度から2026年度までの概ね3年間の計画期間とします。
- 計画区域は愛知県全域を対象とし、地域による公共交通の状況や地域特性が異なることから、尾張、西三河、東三河の3地域区分を基本に課題の整理などを行います。

【期間】 2024年度から2026年度
(概ね3年間)

【区域】 愛知県全域
(尾張/西三河/東三河)



(2) 対象とする交通機関

- 本計画で対象とする交通機関は、鉄道・軌道（以後、鉄道）、旅客船、路線バス（近距離高速バス含む）、コミュニティ交通（コミュニティバス、デマンド交通等）、タクシー（乗合タクシー含む）を基本とした公共交通を対象とします。
- なお、これらにより構成される公共交通ネットワークについて、大きく広域交通（県間交通含む）、市町村間交通、市町村内交通の3つの種別に区分します。

広域交通（県間交通含む）

【位置付け】

- ・ 県境を越える移動などを支えるネットワーク
- ・ 県中心の「名古屋地区」に繋がる路線

【構成する主な交通機関】

- ・ 鉄道 ・ 旅客船

【主な関係者】

- ・ 県、国、交通事業者

市町村内交通

【位置付け】

- ・ 各市町村の県民の移動ニーズに対し、主として市町村の区域内で提供される公共交通ネットワーク

【構成する主な交通機関】

- ・ 路線バス ・ コミュニティ交通 ・ タクシー

【主な関係者】

- ・ 市町村、県、交通事業者

市町村間交通

【位置付け】

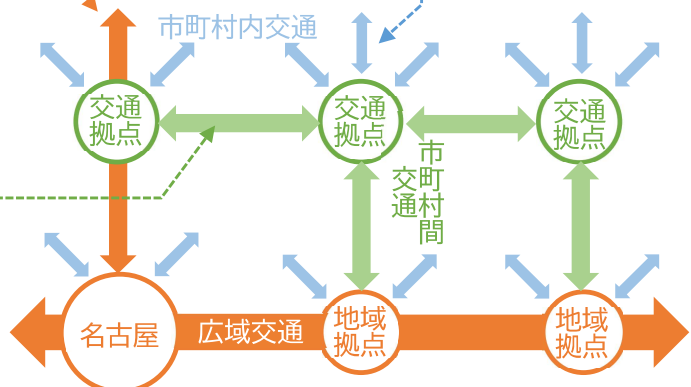
- ・ 市町村境界を越える移動を支える公共交通ネットワーク

【構成する主な交通機関】

- ・ 鉄道 ・ 路線バス（県内、近距離高速バス含む）

【主な関係者】

- ・ 県、国、市町村、交通事業者



コラム あいちビジョン 2030（2021年度～2030年度）

- リニア中央新幹線が全線開業し、スーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示しています。
- 2040 年頃の社会経済の展望を踏まえ、以下のとおり、将来の愛知の姿を描き、その実現をめざしています。

【基本目標】 暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち
 ～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～

【めざすべき愛知の姿】の概要

1. 危機に強い愛知

- いかなる危機に直面しても、被害を最小限に抑え、愛知が日本の成長エンジンとして、引き続き、我が国の発展を力強くリードしていくため、県民の生命・財産を守るとともに、速やかに社会経済活動を再開できる危機に強い地域づくりを実現していく。



2. すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知

- 多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自分の可能性を高めて、次の時代を切り拓いていく人材を育成するとともに、すべての人が、豊かな時間を楽しみながら、望む形で役割を担うことができる社会をつくっていく。
- 「人生 100 年時代」において、お互いが支え合いながら、地域で安心して暮らし、生涯にわたって輝き、活躍できる社会を実現していく。



3. イノベーションを創出する愛知

- あらゆる産業で新技術の活用を進め、「産業首都あいち」として、国際的なイノベーションの創出拠点を形成していくとともに、未来を拓くイノベーションを生み出す人材を育成・確保していく。
- テレワークや兼業・副業など多様な柔軟な働き方ができる社会を構築していく。

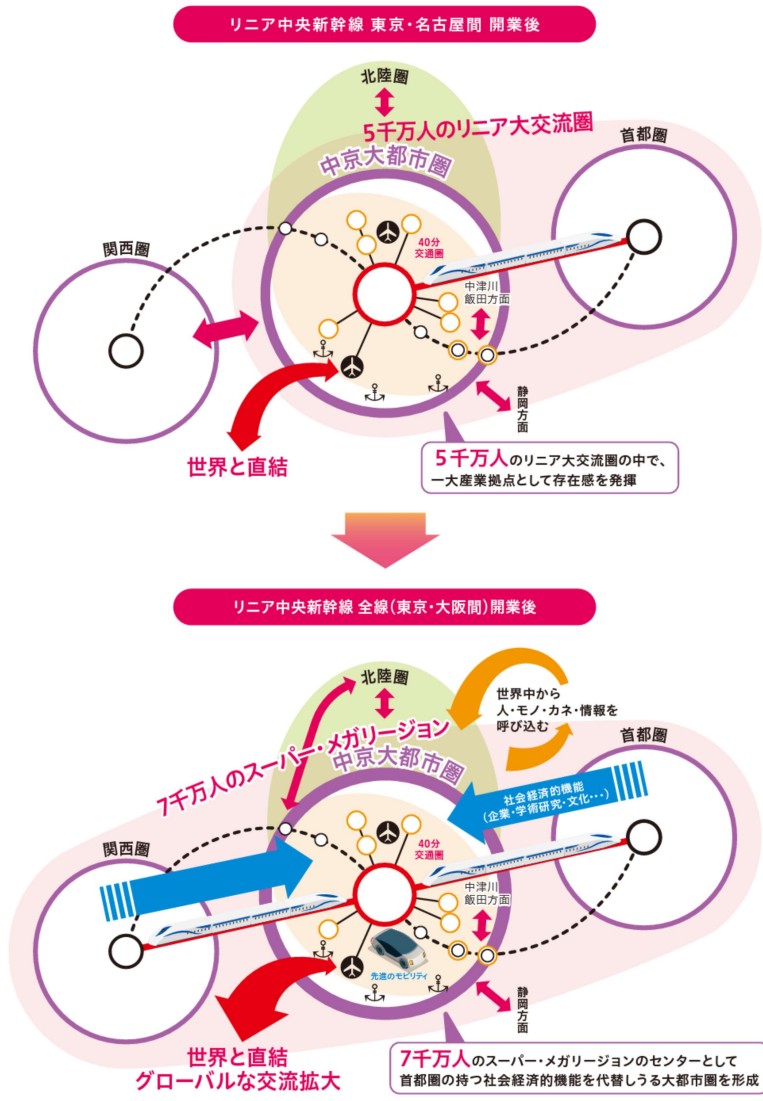


〈中京大都市圏の発展イメージ〉

4. 世界から選ばれる魅力的な愛知

- スーパー・メガリージョンのセンターとして、世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まり、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替しうる中京大都市圏※の形成をめざしていく。

※中京大都市圏：名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強く、一体性の強い産業集積を有するエリア（名古屋を中心とした概ね80～100キロ圏）を「中京大都市圏」と位置付けている。



【基本目標】 危機を乗り越え、輝く未来へつなぐ あいちの交通
～モビリティ先進県を目指して～

【5つの方向性】

方向性	施策の枠組み	具体的な取組
1 まもる	持続可能な移動手段の確保・充実	① 地域公共交通の確保・維持 ② 輸送資源の総動員による移動手段の確保・充実 ③ 新型輸送サービスの活用推進 ④ 山間・離島地域の暮らしを支える取組の推進 ⑤ 交通分野における担い手の確保
	誰もが安心して快適に移動できる環境の創出	① ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた快適で質の高いモビリティサービスの提供 ② バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進 ③ 高齢者の移動手段確保に向けた取組の推進
	安全な交通サービスの提供	① 輸送の安全の確保 ② 交通安全対策の推進
2 たかめる	スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり	① リニア中央新幹線の整備促進と開業効果の広域的な波及 ② 空港の機能強化 ③ 港湾の機能強化 ④ 先進のモビリティサービスの導入
3 ひきつける	観光交流を促進する交通ネットワークの充実	① 交通拠点と観光地を結ぶ交通アクセスの充実 ② 観光客等の利便性の向上 ③ 周遊を促す仕組みの構築
	ジブリパークを活かした県内周遊観光の促進	① ジブリパークを活かした県内周遊観光の促進
4 つなぐ	まちづくりと連携したコンパクト・プラス・ネットワークの構築	① まちづくりと連携した計画的な交通ネットワークの構築 ② まちづくりと一体となった交通基盤の整備推進 ③ 交通結節点の機能強化 ④ 快適に移動できるまちづくり ⑤ 「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり
5 へらす	環境と調和した自動車利用	① 環境負荷の小さい交通・運輸への転換 ② 公共交通分野における次世代自動車の導入推進 ③ グリーンスローモビリティ等の活用
	航空・港湾分野における脱炭素化の推進	① 航空・港湾分野におけるカーボンニュートラル化に向けた取組の推進